MRIシェアリングサービス Seamr MRI によるつながる医療の実現

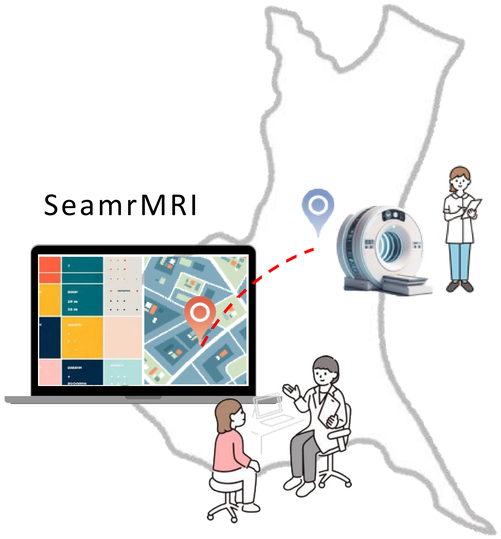
Seamr株式会社

提案の背景

- 医療機器MRIは全国で月100万回撮影され、有床病院の50%が保有している。しかし使用実態は二極化しており、患者が溢れ撮影待ちが長期化し問題になっている病院と、撮影件数が低く経営課題になっている病院である。
- 茨城県地域医療構想では「ICT を活用したネットワークの活用等による連携強化」を2025年の目標に掲げているが、ICTの導入コストやユーザー教育がハードルとなり、広がりは限定的である。

トライアル概要

概要	Seamr MRI を用いてMRI共同利用を、病院間で実施。
モニター	つくば市内外　病院・開業医 / 整形外科・脳神経外科・呼吸器・歯科
スケジュール	2024年8月～2025年3月
検証	MRI稼働状況の改善 / 診療サイクルの改善 / 製品価値の表在化 / メリット・デメリットの確認
体制	Seamr株式会社　3名 2名（交渉、説明、モニタリング、ヒアリング、電話対応）、1名（医師のため、医療面での質問対応）



期待される効果・実現する未来社会

- 患者が溢れ撮影待ちが長期化し問題になっている病院では、撮影待ち解消による診療サイクルの向上が期待できる。
撮影件数が低く経営課題になっている病院では、撮影件数増加による経営改善が期待できる。
- つくば市にとって、恵まれた医療環境をこの先も維持し続けることにつながる。
- 住民にとっては、医療をもっと便利に、もっと身近に感じてもらえることにつながる。

ヘルスケアでもスマートな社会を、まずはつくば市で実現し、ロールモデルとして全国へ展開していきます。